

2019年2月8日

SOMPOホールディングス株式会社

## タイのロンガン農家向け『天候インデックス保険』販売開始

### ～人工衛星データを活用して新商品を開発～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）の子会社である SOMPO Insurance Thailand Pcl.（CEO：Ms. Chayanna Siripiom 以下「SOMPOタイ」）は、主に農業従事者向けの融資を行うタイ農業協同組合銀行（Bank for Agriculture and Agricultural Cooperative（以下「BAAC」））とともに、タイで初めてロンガン農家向けの『天候インデックス保険』を2019年2月中旬を目処に販売を開始します。

#### 1. 背景と目的

- ・タイでは、近年の気候変動によって極端な干ばつなどの自然災害が発生しており、農家では事業の安定化が課題となっています。SOMPOタイは、2010年からBAACと連携し、タイの東北部の稲作農家向けに天候インデックス保険を販売してきました。
- ・近年、タイにとって主要輸出農業作物であるロンガンも干ばつリスクにさらされています。タイ政府は、ロンガン農家の安定的成長のため、保険活用も含めた経済的支援策を検討してきました。
- ・SOMPOタイは、稲作農家向けの天候インデックス保険の販売ノウハウを活かすと同時に、SOMPOホールディングスの主要海外事業会社である SOMPO International Holdings Ltd.（CEO：Mr. Nigel Frudd、以下「SIH」）が立ち上げた統合プラットフォームである「AgriSompo」※を通じて技術提供を受けることにより、人工衛星データを活用したロンガン農家向けの『天候インデックス保険』を開発しました。

※ AgriSompo：世界各国のマーケットニーズに応じた農業リスクマネジメントソリューションを提供するために、農家・農業事業者、農業保険を取り扱う保険会社に対して、統一的な基準で保険引受（アンダーライティング）をし、一連の商品に対する専門知識と技術を提供することを目的として SIHが2017年11月に立ち上げた新統合プラットフォーム。北米、ヨーロッパおよびオーストラリアの農業マーケットにおいて保険、再保険および天候デリバティブ（天候インデックス保険）など幅広く提供しており、現在は南米およびアジアの主要な農業マーケットに拡大している。

#### 2. 保険商品の概要

- (1) 保険対象者（被保険者）  
対象地域の農業従事者
- (2) 対象作物  
ロンガン（竜眼、龍眼ともいう。ムクロジ科ムクロジ属の常緑小高木の果実）
- (3) 対象地域  
チェンマイ県

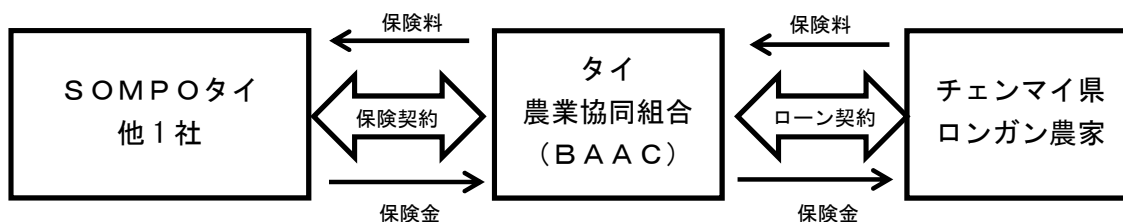


- (4) 対象リスク  
干ばつ（果実が実る3～4月の少雨リスク）
- (5) 補償内容  
衛星全球降水マップ（GSMaP）※1をベースにした降水量データに基づき、雨が降らない日の連続日が、あらかじめ設定した連続日数を上回った場合に、事前に定めた金額を保険金としてお支払いします。
- (6) データ提供機関  
一般財団法人リモート・センシング技術センター（RESTEC）※2
- (7) 引受保険会社  
SOMPOタイ（幹事）および他1社
- (8) 販売元  
BAAC  
(保険対象者のうち天候インデックス保険への加入を希望する農業従事者に販売します。)

※1 衛星全球降水マップ（GSMaP）  
宇宙航空研究開発機構（JAXA）が提供する、人工衛星からのリアルタイムの全球降水マップの名称。

※2 一般財団法人リモート・センシング技術センター（RESTEC）  
人工衛星等を利用して、地球の現状を探索するリモート・センシングに関する総合的研究開発、サービス提供を行う一般財団法人。

#### <販売スキーム>



### 3. 今後について

SOMPOタイは、今後もBAACと連携し、タイ国内の他県への展開などを通じてロンガン農家の天候リスクの軽減と家計安定をサポートしていきます。また、世界各国の農業保険やリスクマネジメントで実績と知見を持つSIHのAgriSompoのノウハウを活用し、タイの主要産業である農業のさらなる発展に貢献していきます。

以上